



「名刺」

先日、イギリス在住が10年以上という日本人の男性の方から、「名刺」は大変便利なもの、個人用にも数種類作っておいてケースパイケースで使用するといいのでは？と言われました。イギリス生活でも重宝したそうです。自分を表現する小さなカードが名刺ということで、その方も数種類も名刺を持っておられ、私には会社名が入ったものと、ご自分でかかれたイラストの入ったプライベートカードと2種類頂きました。

1枚はよく見るちょっとカタイ感じのビジネスの顔というべき名刺、そしてもう一つはかわいいイラストにメールアドレスと携帯電話が書かれてあったかわいい名刺でした。照れくさそうに差し出された2枚の名刺からその方の人柄にふれたようで、ほのぼのした気持ちになりました。「これからもよろしく」という、そんなメッセージもこめられているようでうれしくなりました。

普通「名刺」というと「ビジネス＝仕事」というイメージが強いものです。営業マンの皆さんにとっては何枚配るかが勝負という人も多いと思います。仕事先などで名刺を持ってないと（時に忘れていたりすると）、なんだか出遅れて気まずい雰囲気になったという経験はないでしょうか？（私はあります・笑）91mm×55mmという小さなカードではありますが、その力は未知数です。

時に1枚の名刺から数億円のビジネスへと発展するということも聞きますから・・・もちろん手にされずゴミ箱へというパターンもあるでしょうが。

「名刺」といえば、初めて名刺を持った時のことを思い返してみました。就職した会社から支給された名刺は、入社して数日で届きました。会社名と部署名と名前が書かれた白いカードを手にした時、「社会人になったんだなあ・・・大人の仲間入りかあ・・・」そんなことを感じたのを覚えています。お気に入りの名刺入れを買い、名刺交換のマナーにも気を使いました。相手より先に出すことや両手で丁寧に渡すこと、机上では座っている順番に名刺を並べ名前がすぐに確認できるようにと気をつかったことなどなど・・・しかし、名刺生活も何年もしてくると、バックの奥にしまいこんですぐ出せなかったり、時に出すのが面倒くさかったり、忘れてたりとずいぶん失礼なこともしているなあと反省しております。

考えてみれば名刺を渡すということは、相手とのつながりを持ちたいという気持ちが少なからずあるのではないのでしょうか？ どうでもいい相手には（特にプライベート名刺は）渡すことはないのではと思うのです。私のことを覚えてください、何かのときは連絡をくださいという「顔」のみえる自己表現が入っているのではないでしょう

つもちゃんの

ドク
バタ
ラジオ日記

か？

毎年その年の新入社員のタイプをいろいろなモノ等で表現している団体があります。それによると、2006年度は「ブログ型」の新入社員だとか。インターネット上の日記「ブログ」、誰が書いているか誰に向かって発信しているのかはっきりしない曖昧さも魅力という。この「ブログ」を用いて「表

面は従順だが、さまざまな思いを内に秘め、ときにネット上で大胆に自己表現する」という特徴からきているそうです・・・が思うに、自己表現は大胆でなくてもやはり直接したほうがいいと私は思います。

アナログコミュニケーション大歓迎！小さなカードから自己表現！

これもいいなぁと思う5月であります！

お す す め 取材日記

「パン工房くるみ」

高松市新田町にあるパン屋さんであり、パン教室の「くるみ」さん。元看護師さんというオーナーの矢野久美さんが店を開いて今年の5月で13年目。安全なパンを手作りで作っています。近くの幼稚園や高松市内の人気カフェにもパンをおさめている凄腕のパン屋さんですよ！おすすめは発芽玄米を使ったパンです！

裏メニューのマドレーヌも絶品だとか・・・。一度食べたら忘れられない味がある、そんなお店でした。

<場所>高松市新田町（高松東病院の近く）

<電話>087-841-9066

